

# 第15回宮城マスター検定1級試験解答と解説

番号	正解		解説
問1	1	キャベツ	キャベツと一緒に食べるのは、久しぶりに帰ってきた遠洋漁業の船員の野菜不足を補うため、気仙沼ホルモンと一緒にキャベツの千切りを出したからだと言われています。
問2	4	竹駒神社馬事博物館	岩沼市の竹駒神社にある馬事博物館には伊達政宗騎馬像の石膏像があります。作者の小室達の日記から帝展に出品する意図があったことが判明していますが、関係者からの反対があり断念しています。岩沼市は令和7年3月にこの石膏像を市の有形文化財に指定しています。なお、竹駒神社の馬事博物館は令和3年に国の登録有形文化財(建造物)に指定されています。
問3	1	ユリ	「南くりこま高原 一迫ゆり園」は平成3年に開園し、最盛期には約200品種、15万球のゆりが栽培され、年間3万人以上の観光客が訪れました。コロナ禍などの影響で令和2年に惜しまれつつ閉園しましたが、昨年度「一迫ゆり園おこし協力隊」が設立され、完全復活に向け、今年度は試験園での栽培が行われました。
問4	2	虎舞	55年前の大阪万博でも披露された浪板虎舞は、震災の試練を乗り越え、8年前には県の無形民俗文化財に指定されました。大はしごに登る曲芸的な舞が特徴です。小中高生と保存会が、復興支援への感謝を万博のステージで元気に披露しました。
問5	3	看板	看板建築とは、昭和初期に流行した一見コンクリート造りの洋風の外観をした店舗兼住宅の建物です。登米市登米町の武家屋敷通りの隣の商店街には、大正時代から昭和初期にかけて建てられた看板建築や蔵造り商店街が残り、昭和レトロ感であふれています。
問6	3	青麻山エリア	今年1月に蔵王ジオパークが日本ジオパークに認定されました。宮城県では、三陸、栗駒山麓に次いで、3つ目の日本ジオパーク認定です。蔵王の美しい景観、歴史と文化を次世代に残そうという思いと取組が認められたものです。
問7	4	ブラインドサッカー	コルジャ仙台は平成24年設立の仙台市を拠点に活動しているブラインドサッカーのクラブチームです。「コルジャ」とはフクロウを意味するポルトガル語がもとになっています。ブラインドサッカーは、視覚障がい者と目の見える晴眼者が共にプレーする5人制サッカーです。
問8	2	十八鳴	気仙沼市大島の「十八鳴浜」は、三陸ジオパークのジオサイトとして認定されている島の北東部にある砂浜です。9+9=18で「十八鳴浜」と名付けられました。
問9	1	富谷	奥道中歌に「国分の町よりここへ七北田よ 富谷茶のんで味は吉岡」と詠まれたように、かつてはお茶の産地でもあり、旅人や商人の宿場として隆盛を極めました。富谷しんまちには、宿場町らしい情緒ある景観が今も色濃く残っています。
問10	4	登米町	森の持つ癒やしのチカラについての研究が進み、その効果の高い森が「森林セラピー基地」として認定されています。「登米ふれあいの森」は、宮城県で唯一認定を受けており、園内には、時間や体力に合わせて選べる8コースが整備され、四季折々の景色を楽しみながら散策することができます。
問11	3	緑の	亀山、小田の浜海水浴場、龍舞崎など豊かな自然と温暖な気候とをもつ大島の美しさは、水上不二(みずかみふじ、明治37年～昭和40年)の詩に「みどりの真珠」と詠まれました。
問12	3	道の駅おながわ	宮城県内の道の駅は、七ヶ宿、津山、三本木、路田里はなやま、大谷海岸、おおさと、米山、あ・ら・伊達な道の駅、林林館、上品の郷、みなみかた、村田、三滝堂、かくだ、おおさき、硯上の里おがつ、おながわ、さんさん南三陸、東松島の19駅です。あ・ら伊達な道の駅は平成26年度、道の駅おながわは令和元年度に重点道の駅に選定されています。
問13	2	ふすべ餅	「ふすべる(燻べる)」は、物を燃やす、いぶす、くすべる、すすけさせるなどの意味で、ふすべ餅はこんがりと焼いたドジョウと、すりおろしたごぼうが主な材料です。特に唐辛子を効かせたふすべ餅は、寒い季節には体を温め、暑い夏は食欲増進のために食べられています。

# 第15回宮城マスター検定1級試験解答と解説

番号	正解		解説
問14	3	大崎市田尻	昭和18年に恵比須田遺跡で発見された遮光器土偶は縄文時代晩期のもと考えられており、昭和56年に国の重要文化財に指定されています。全長36cmは日本最大級で、現在は東京国立博物館所蔵ですが、レプリカが大崎市田尻総合支所等に展示されています。
問15	2	多賀城駅	JR仙石線多賀城駅前のモニュメントは平成27年3月11日に設置されました。円柱の高さは、市内を襲った津波の最大の高さと同じ4.6mです。東日本大震災の「記憶」の一部を、モニュメントのスケール感で表現したものとなっており、東日本大震災を体験していない世代にも、モニュメントの目的が伝わるよう市内で最も人の行き交う多賀城駅前に設置されています。
問16	2	蕪栗沼	蕪栗沼の周辺水田では、「ふゆみずたんぼ」(冬の田んぼに水を張り、渡り鳥との共生を目指す農法)の取組が行われており、湿地環境としての重要性が認められています。宮城県内の登録湿地は、蕪栗沼のほか、伊豆沼・内沼(昭和60年登録)、化女沼(平成20年登録)、志津川湾(平成30年登録)があります。
問17	3	みやぎ・純米酒	宮城県の酒造りは慶長9年から始まったとされています。昭和61年には宮城県産ササニシキ100パーセントの純米酒造りを行うと「みやぎ・純米酒の県宣言」をしています。その後高品質な「特定名称酒」の製造比率を高めています。現在では約9割以上が特定名称酒となっています。
問18	4	七ヶ浜町	七ヶ浜町の代ヶ崎浜には、おはじきで彩る防潮堤アート「よがさきおはじきのアート」があります。小さなおはじきを使ってデザインされた作品を鑑賞できます。
問19	2	塩竈市津波防災センター	「塩竈市津波防災センター」では、発災から7日間の記録を1日ごとに表したタペストリーを展示しています。被害状況や避難者数、インフラの状況等が描かれています。また、市内を襲った津波の映像や巡視船「まつしま」の津波を乗り越える映像などが上映されています。災害時は一時避難所として利用できる施設となっています。
問20	4	佐藤 基	佐藤基は明治27年現在の角田市で生まれた医師で、世界で初めてインシュリン(インスリン)の成分を発見しました。手続きが遅れたためにノーベル賞はカナダ人の医師に渡りましたが、医師として患者と向き合い病気で苦しむ多くの人々を救いました。齋藤眞は脳神経外科という新しい分野の開拓を進めた人物。志賀潔は赤痢菌を発見した人物。安田恭輔(フランク安田)はアメリカに渡ってイヌイットの移住を成功させた人物です。
問21	2	源義経	兄・頼朝の許しを得ずに廷尉に任ぜられた事で兄の怒りを買ひ、平泉に逃れる途中で産まれた源義経の子が、鳴子に辿り着いて初めて啼き声をあげたという伝説が残り、その伝説を記すように「啼子之碑」が建っています。
問22	3	ネズミザメ	気仙沼漁港に水揚げされるサメの中では、ヨシキリザメとネズミザメが特に水揚げの多い種類です。ネズミザメは地元では「モウカ」と呼ばれ、余すところなく活用されます。特に心臓は「モウカの星」と呼ばれ、酢味噌等をつけて刺身で食されています。
問23	3	明治	唐桑半島東岸の巨釜半造は三陸復興国立公園を代表する景勝地です。大理石の石柱「折石」は、明治29年(1896年)の三陸大津波の際に先端が2メートルほど折れて、高さ約16メートルになりました。巨釜半造には他にも「トンネル岩」や「潮吹岩」など奇岩怪岩が連続しています。
問24	3	末の松山	末の松山は多賀城市宝国寺の裏手にある2本の松がそびえる丘で、最古の勅撰和歌集である「古今和歌集」に初めて登場して以降、みちのくを代表する歌枕として多くの歌に詠まれました。 「契りきな かたみに袖を しぼりつつ 末の松山 波越さじとは」(『後拾遺和歌集』恋四)

# 第15回宮城マスター検定1級試験解答と解説

番号	正解		解説
問25	4	津山町	平成の大合併で誕生した市町のうち、今年4月に20周年を迎えたのは石巻市、登米市、栗原市、東松島市の4市です。 登米市は、旧登米郡の迫町、登米町、東和町、中田町、豊里町、米山町、石越町、南方町の8町、旧本吉郡の津山町が合併して誕生しました。
問26	2	水車	直径10mの巨大水車として市民に親しまれていますが、「ヨッ！日本一」という名前のわりに、大きさだけで言えば日本の中でトップ10にも入っていないというユニークな水車です。
問27	3	線刻	合戦原遺跡の壁画は線刻壁画と呼ばれるもので、石や土壁の表面に硬い道具で線を彫り込んで描かれた絵のこと。絵具で「描く」ではなく、文字通り「線」を「刻む」ことで表現されます。地域のキャラクター「せんごくん」のモチーフにもなっています。
問28	3	田代島	仁斗田貝塚は田代島仁斗田地区北部の、海に東面した崖上標高20～23mの丘陵上に立地しています。遺跡の規模は平坦部を中心に東西85m、南北85mで、貝層を構成する貝類はアワビ・サザエなど岩礁性のものが多く、立地条件を明瞭に反映しています。縄文時代前期～後期の土器・石器のほか、骨角製の釣針やモリ先などのすぐれた漁具が出土しています。
問29	2	里いも	蔵王町の里いもは土垂れ(どだれ)と言う品種が主流です。主に子芋を食用とする品種で、小ぶりの里いもですが、地元の直売所などでは親芋も販売されています。毎年10月には、「ございん市里いもまつり」が開催されています。なお、大根まつりは毎年11月の開催です。
問30	4	中鉢美術館	大崎市岩出山にある刀剣美術館は「中鉢美術館」です。その他の選択肢では、「福島美術館」は令和元年に閉館した仙台市若林区の美術館、「島川美術館」は仙台市青葉区の美術館、「秋水美術館」は日本刀のコレクションが充実した富山県の実業家美術館です。
問31	3	小田の浜海水浴場	小田の浜海水浴場は、気仙沼大島の東側に広がる遠浅の海水浴場で、環境省選定の「快水浴百選」に選ばれています。 その他の選択肢である大谷海水浴場と小泉海水浴場は気仙沼市に、サンオーレそではま海水浴場は南三陸町に位置しています。
問32	3	鹽竈神社	鹽竈神社の現在の建物は、4代藩主伊達綱村公が造営を始め、5代藩主吉村公の時代(1704年)に完成しました。 陸奥国分寺薬師堂は伊達政宗公の命により再建された桃山建築の代表的建造物で、1607年に落慶しました。仙台東照宮本殿は2代藩主忠宗公により1654年に造営されました。瑞巖寺五大堂は東北地方現存最古の桃山建築で1604年に伊達政宗公によって造営されました。
問33	1	大槻俊斎	大槻俊斎(1806～1862)は赤井村(現東松島市)出身の医師です。江戸で手塚良仙(漫画家手塚治虫の先祖)に師事し、長崎留学を経て江戸で開業、当時流行していた天然痘対策として幕府に願い出て江戸で最初の種痘所を開設しました。この種痘所はのちに「西洋医学所」となり東京大学医学部の前身とされています。
問34	3	仙台雪菜	仙台あおば餃子は、平成21年度に農業の振興及び地域経済の活性化を目的に誕生し、翌年5月の仙台・青葉まつりでデビューしました。皮に仙台雪菜を練り込んで鮮やかな緑色に仕上げた、野菜たっぷりのヘルシーな餃子で、子どもから大人まで楽しめます。
問35	4	柴田町	「はなみちゃん」は町花がサクラ(桜)でユズ(柚子)が特産の柴田町のイメージキャラクターです。 桜の妖精と柚子の妖精の間に生まれた花の妖精です。 体重はわずか1ケース分で花のプレスレットがお気に入り。船岡城址公園が好きな観光地となっています。

# 第15回宮城マスター検定1級試験解答と解説

番号	正解		解説
問36	—	台ヶ森焼	<p>宮城県による伝統的工芸品の指定は平成2年以來35年ぶりで20品目目となります。台ヶ森焼は大和町吉田台ヶ森で採れる土で作られる陶磁器です。粘土に垂炭や鉄、銅が多く含まれ複雑な色合いが生まれるのが特徴で50年以上の歴史があります。</p> 
問37	—	いずしま	<p>「出島(いずしま)大橋」は、女川町の東にある離島・出島と本土を結ぶ架橋部分364mの橋です。地域住民から早期完成が望まれてきた出島大橋は、島内の生活、産業、観光、医療はもとより防災を担う「いのちの道」として、出島地区・女川町全体の活性化に大きく寄与することが期待されています。</p>
問38	—	みやげ、みやぎ	<p>仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会では、仙台・宮城の観光をより一層盛り上げるためのシンボルとなる新しいキャッチコピーとロゴマークを決定しました。「みやげ話は、みやぎ話。」は、宮城県を訪れた方に、宮城での旅の思い出を「お土産」として持って帰っていただきたい、という想いを表現しています。</p> 
問39	—	クールボジャ(メロン)	<p>クールボジャは昭和40年代頃から岩沼市や名取市の沿岸部で栽培されているメロンです。果皮に網目のないプリンスメロン系のメロンで、甘くさわやかな風味が人気を博しています。</p>
問40	—	桂島、寒風沢島、朴島、野々島	<p>美しい海に囲まれた島々で、朴島ではゴールデンウィーク頃に菜の花が、桂島では夏に海水浴などが楽しめます。</p>
問41	—	寒湯	<p>栗原市にある仙台藩花山村寒湯番所跡は秋田藩との藩境番所で、全国的にも珍しく建物が現存しています。読み方は側に湧く「温湯温泉」と同じ「ぬるゆ」ですが、字は「寒湯」を当てます。</p>
問42	—	ウタツギヨリユウ	<p>平成28年に日本地質学会は各都道府県の「県の石」を選定しました。宮城県から化石として選ばれた「ウタツギヨリユウ」は、昭和45年、歌津館崎の海岸から発見されたため、その名前があります。魚竜は爬虫類の一種で、この化石は世界最古級の魚竜化石のひとつと考えられています。</p>
問43	—	A-3、B-1、C-2	<p>登米市にある柳津虚空蔵尊のご本尊は行基によって作られました。丸森町の愛敬院には春に境内一面ヒメシヤガの花が咲きます。栗原市の双林寺境内にある薬師堂は杉薬師の名で親しまれています。</p>
問44	—	日和山	<p>この日和山は高さ54mで、石巻市内を一望でき、天気の良い日には牡鹿半島、遠くには松島の風景などをみることができます。公園内には、多くの文学碑や松尾芭蕉・曾良像などもあります。伊達政宗が仙台城を築城する際、他の候補地として、石巻日和山などが挙げられていたとされます。</p>
問45	—	ウグイ	<p>横山不動尊の御池などの「横山のウグイ生息地」には、国の天然記念物に指定されているウグイが多数生息しています。大きいものだとも最大50cmに達しますが、多くは30cm前後です。産卵期には、池に続く川に出て産卵します。</p>
問46	—	みちのく杜	<p>国営みちのく杜の湖畔公園は釜房湖の水辺を生かし、四季折々の花が楽しめ、家族や友人でゆったりとくつろげる東北唯一の国営公園です。</p>

# 第15回宮城マスター検定1級試験解答と解説

番号	正解		解説
問47	—	しと、ばり	「尿前」の読み方は「しとまえ」ですが、この句の中では「尿」を「ばり」と読むことが一般的とされ、東北地方の方言が取り入れられた句となっています。
問48	—	くりでん	「くりでんミュージアム」には、平成19年に廃線となった「くりはら田園鉄道」の貴重な資料を展示しています。沿線を再現したジオラマや、実際に営業運転していた車輛の運転席で体験する運転シミュレーター、車両や工作機械の展示などもあり、見て、ふれて、体験できる施設です。
問49	—	四方山	角田市、亘理町、山元町の境界にそびえる四方山は阿武隈高地の一角をなし、展望台から360度の大パノラマを楽しむことができるほか、晴天の日には金華山も見ることができます。みやぎ蔵王三十六景に登録されており、みちのく潮風トレイルのコースにも認定されています。
問50	—	涌谷町	「みちのくGOLD浪漫－黄金の国ジパング、産金はじめりの地をたどる」は、涌谷町、気仙沼市、南三陸町、石巻市、岩手県陸前高田市、平泉町の3市3町が構成市町となり日本遺産に認定されています。